

評価項目	教職員回答（割合）				教職員 自己評価	学校関係者 評価
	できている	ある程度 できている	あまり できていない	できていない		
	達成度が高い	ある程度達成でき ている	できていない あまりそう	達成 できていない		
	そう思う	ある程度 そう思う	できていない あまりそう 思わない	できていない そう思わない		

◎目指す学校像

1 学校は、「学校教育目標」の達成に努めている。	8%	67%	25%	0%	B	A
2 学校は、学力向上や生徒指導上の課題解決のため、生徒保護者に適切な指導・アドバイスをを行っている。	25%	71%	4%	0%	B	B
3 学校は、生徒や保護者にとって魅力と活気ある行事になるように努めている。	25%	67%	8%	0%	B	B
4 学校は、学校だよりや学年だより等を通して学校の姿勢や良さを発信している。	58%	38%	4%	0%	A	A
5 学校は、同じ中学校区の学校と連携した教育活動に取り組み、児童生徒同士の交流や連続性のある学習指導、生徒指導に努めている。	25%	67%	4%	4%	B	B
6 学校は、生徒の健康増進・体力向上のため食育や保健体育に取り組んでいる。	54%	46%	0%	0%	A	A

学校運営協議会委員より

・項目1：教職員の職務に取り組む姿勢が素晴らしく、保護者の評価も高いため“A”と評価する。
・項目2：適切な指導・アドバイスをを行っていると感じるが、さらによくするという姿勢を維持してもらいたい。

・項目3：工夫した行事が運営されており、保護者の評価も高いが、複数の生徒が行事を楽しめていないと答えている点を課題と捉えてもらいたい。
・全ての評価項目について、経年変化を捉えていきたい。

◎目指す生徒像

7 生徒の多くは、進んで学習に取り組んでいる。	0%	63%	29%	8%	B	B
8 生徒の多くは、自分の目標を持ち、自分を高めようと努力している。	0%	58%	33%	8%	C	C
9 生徒の多くは、誰に対しても明るく気持ちよくあいさつしている。	4%	46%	50%	0%	C	C
10 生徒の多くは、仲良く過ごし、良い集団となるように努めている。	8%	67%	25%	0%	B	B
11 生徒の多くは、体育の授業や部活動などに進んで取り組み、体力向上に努めている。	25%	75%	0%	0%	A	A
12 生徒の多くは、清掃やボランティア活動に進んで取り組み、奉仕や貢献をしている。	8%	33%	42%	17%	C	C

学校運営協議会委員より

・生徒は状況に応じて互いに声を掛け合い高めようとする姿勢が見られると感じるため、もう少し評価が高くてよいのではないか。
・項目9：声に出すあいさつができなくても、目が合えば自然と会釈ができる生徒に育ててもらいたい。（教員が手本を示す）

・項目8：生徒は「自分のよさや特性を生かし、学校生活をがんばっている。」という項目について肯定的な自己評価をしている。目指す生徒像を捉え直し、評価項目を修正する必要もあるのではないかと。
・項目12：清掃・ボランティアは別の項目で評価したほうがよい。

◎目指す教師像

13 あなたは、目指す学校像『四方よしの宗岡二中～「生徒よし」「家庭よし」「地域よし」「職員よし」』を意識し、業務に取り組んでいる。	29%	71%	0%	0%	A	A
14 あなたは、課題意識を持ち、研修に前向きに取り組んでいる。	21%	71%	8%	0%	B	B
15 あなたは、わかりやすい授業をするように努めている。	33%	54%	0%	0%	A	A
16 あなたは、ICT機器（タブレット端末等）を活用した授業の充実に努め、生徒の学習意欲の向上に取り組んでいる。	4%	46%	33%	8%	C	C
17 あなたは、生徒や保護者の相談に迅速・丁寧・適切に対応している。	42%	46%	8%	0%	A	A
18 あなたは、生徒に規範や正義を教えるべきことをしっかりと教えている。	25%	67%	4%	0%	B	B
19 あなたは、時と場に応じた言葉遣いに配慮し、教師と生徒との適切な距離がとれている。	46%	37%	17%	0%	B	B
20 あなたは、仕事に対し誠意を持ち学年・学校と協力した対応をしている。	54%	46%	0%	0%	A	A

学校運営協議会委員より

・項目13・17・20：教職員が互いに連携し、真摯に職務に取り組んでいる姿が素晴らしいと感じている。
・項目16：道具としてのICT活用ができるとよい。板書をノートに写す等、ICTを用いない従来の学習も大切である。

・項目15：教員一人一人が様々な工夫を凝らした授業を行っている。
・項目19：「適切な距離」は、精神的な距離と、身体的な距離の両方の捉え方ができるため難しい。場に応じて使い分け、距離を縮めたり体に触れたりする必要がある場合は生徒に説明することが大切である。